

第 87 回紫友まち歩き

東海道七福神巡りと 海苔のふるさと大森

昔は海に面していた旧東海道と大森界隈の今を発見するまち歩きです。案内人の説明によって旧東海道品川宿街道沿いの七福神の神社見学と、昭和初めまでは海苔が取れた海苔の故郷 大森海岸を見学することにより、各自、昔の姿の探索に挑戦します。七福神をいくつか見つけることができるか。海から海苔を取るところから、一枚になるまでの工程を理解するチャンスです。うまく昔と今を比較することができたでしょうか。良い天気の中、まち歩きはスタートしました。

日時： 2019 年 2 月 2 日(土)

集合時間： 13 時

集合場所：京急新馬場駅北口改札前

参加者： 19 名参加

案内人：河端 020 補佐 柴田 017

懇親会：平和島駅そば 三代目 茂

懇親会参加者：17 名

歩いた歩数：18,000 歩

<まち歩き>:

■まち歩き行程

新馬場駅北口→法善寺【布袋】→一心寺【寿老人(福祿寿)】→品川寺(ほんせんじ)【毘沙門天】→青物横丁駅から(京急2駅)立会川駅へ移動→坂本龍馬像→天祖神社【福祿寿】→立会川駅から(京急1駅)大森海岸駅へ移動→磐井神社【弁財天】→川島屋海苔問屋→平和の森公園・海苔のふるさと館→海浜公園人工渚→貴船神社・巖正寺→懇親会・三代目茂

<スタート>

① 新馬場駅北口:

時間通りに集合。案内人からコースなどの説明を受けて、スタート。



第1京浜の反対側に品川神社が見える。早めに来て【大黒天】を見た人が数人いた。



② 法善寺【布袋】:

北馬場参道ゲートをくぐり、すぐの路地を左折すると大きな銀杏の木がそびえている。



法善寺の前には、【布袋ほてい】が立っている。案内人補佐は、銀杏は大きくなるので、小石川100年の次の100年に向けて「小石川プロジェクト」でも銀杏を植えていきたいという。皆さん協力していきましょう。



③ 一心寺【寿老人（福祿寿）】:

右手奥の養願寺【布袋尊】にお参りをして、旧東海道を少し歩き一心寺に入る。



一心寺の【寿老人（福祿寿）】は、本堂の中にあるようだが、見つけることができない。



④ 品川寺（ほんせんじ）【毘沙門天】:

左手に品川本陣跡碑案内板を見、品川交流館を見学する。1階には昔懐かしい駄菓子売っている。15円、20円など安い駄菓子が並んでいる。



2階には陸蒸気など鉄道関係の説明図が飾られている。



南大森鮫洲海岸の浮世絵(初代歌川広重)には、海苔の養殖の支柱がきれいに並んでいる。



品川橋を右に折れ、荏原神社で【恵比須】像を写真に撮る。早咲きの桜がピンクの花を咲かしている。





昔の雰囲気のある建物を見つけることができる。やかんを飾っている家や畳屋を楽しむ。



寄り道をして旧海岸線の石垣を探す。見つけたがどの部分が昔の石垣かを議論する。



旧東海道を進み、品川寺に着く。【毘沙門天】が有名だが見つけることができなかった。しかし、金生七福神の七福神を一か所で見る事ができた。



⑤ 青物横丁駅から(京急2駅)立会川駅へ移動:

⑥ 坂本龍馬像:

立会川駅を降りてすぐそばに坂本龍馬の像がある。確かに品川沖の黒船から竜馬の幕末は始まった。



⑦ 天祖神社【福祿寿】:

旧東海道に出て少し歩くと天祖神社に着く。【福祿寿】は見えたかどうか。



⑧ 立会川駅から (京急1 駅)大森海岸駅へ移動

一部の人たちは一駅だからと歩きを選ぶ。鈴ヶ森刑場跡が右手にある。火炙りが良いですか、磔が良いですかと言われ、何かと一瞬考え込む。そうだ鈴ヶ森刑場だと理解。

大きな銀杏の木はパワーを与えてくれそうだ。銀杏の前で集合記念写真を撮る。



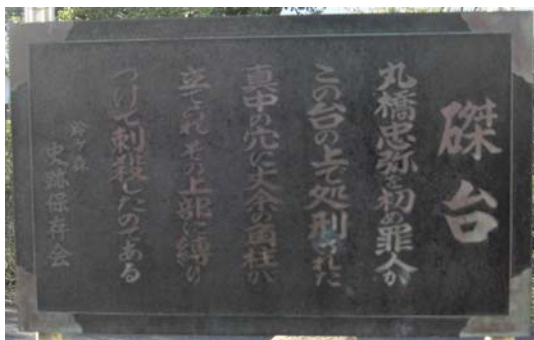
そろそろ疲れてきてどこで引き返すのだろうか。とひそひそと話し合う。ここで一人帰る。



⑩ 川島屋海苔問屋：

案内人は、予定通りに進んでいく。旧街道入り口・三原不動・区立スポーツセンター（旧魚市場）を見て進み、

川島屋海苔卸に着く。はねだし海苔がお買い得品だということで、多くの人がお土産として購入する。大森ではもう取れないのでどこの産だろうか。佐賀有明の段ボールが山積みされていた。



⑨ 磐井神社【弁財天】：

磐井神社で先行隊と集合できた。小さな池の建物の中に【弁財天】が小さく見える。

⑪ 平和の森公園・海苔のふるさと館：

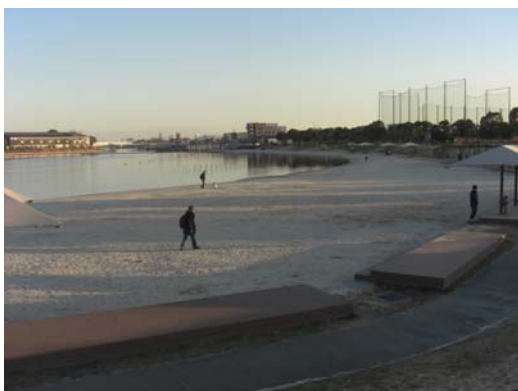
カラスの水浴びを見ながら、平和の森公園を海苔のふるさと館に向かって歩いて行く。海苔のふるさと館では30分以上の見学タイム。ビデオの説明を見て、屋上の展望台から3階、2階と見学しながら降りていく。



⑫ 海浜公園人工渚：

白い砂浜が300mほど広がっている。どこから運んできたのかななどと言いながら、浜辺を歩く。

ここの浅瀬で海苔を養殖しているようだ。



雀が群れている木がありました。またユリカモメも休んでいました。



⑬ 貴船神社・巖正寺：

立派な神社だ。明日は豆まきなので、豆をまく屋台が作られていた。



今は倉庫として使われているが昔はノリの乾燥場だったという2本のトンネルがちょこんと載っている建物も見学。



⑭ 懇親会：

羽田道（駿河屋通り）・内川橋・旧東海道上りを進み、海苔味の菓子江戸前りのり大福で有名な大黒屋に入る。残念ながら売り切れていたようだ。他のもので我慢する人もいた。



懇親会会場三代目茂に着く。すでに茶碗蒸し、

枝豆、ノドグロの焼き魚、刺身、荒の鍋ともつ煮の鍋が並べられていた。



故俵氏に献杯して、懇親会は始まりました。さらにサラダも出てきました。



ビール、ワイン、お酒の飲み放題をこのグループに許したのは、この飲み屋にとっては痛手だったようでした。ラストオーダーでもなかなかワインなどは出てこないのです、お酒の無くなった時が、帰り時と、さっさと帰り支度をする呑み助グループでした。

平和島駅まで行き解散。
皆さん無事に帰りましょう。

<参考1>

昭和7年に品川が大東京に編入された記念として東海七福神初詣を定めたとあります。「東海七福神」は以下。

品川神社は、第1京浜越しに見たので、一応「東海七福神」のすべてをお参りしたと言ってよいでしょう。

大黒天（品川神社）、布袋尊（養願寺）、
寿老人（一心寺）、恵比須（荏原神社）、
毘沙門天（品川寺）、福祿寿（天祖諏訪神社）、
弁財天（磐井神社）

<参考2>

前回の「品川今昔」のまち歩きは、2013年8月17日（土）実施でした。ルートは、次のようでした。

品川駅 → 八ツ山橋 → 旧東海道 土蔵相模 →
品川本陣跡 → 品川橋（目黒川） → 天妙国寺
→ 池上通り交差点 → 品川寺 → 川まで戻って、
江原神社 → 東海橋 → 山手通りを西へ、
東海禅寺前 → 東海禅寺大山墓地 → 山手通り
を戻って、品川神社 →

懇親会会場：品川駅南口



以上